

平成21年度第1回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成21年4月13日(月) 16時15分～19時10分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 小林委員長、上岡委員、原委員、藤田委員、山崎委員
欠席者 加藤委員
委員以外の出席者 申請者(内田教授、大矢院生、川瀬院生、藤原院生、藤本教授)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 平成21年3月9日開催の平成20年度第9回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

- (1) 課題名：アクションリサーチによる看護職医療安全管理者のスキルアップ支援プログラムの開発・・・・・・・・・・資料1

小林委員長から、資料1のとおり内田教授より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の内田教授から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

審議の結果、本件申請については、申請者により訂正が行われ、内容に問題がないことを委員長が確認した時をもって、看護研究倫理委員会の承認があったものとする事とした。

- (2) 課題名：新人教育における先輩看護師の教育的関わり行動の現状と影響要因・・・・・・・・・・資料4

小林委員長から、資料4のとおり大矢院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の大矢院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

審議の結果、本件申請については、申請者により訂正が行われ、内容に問題がないことを委員長が確認した時をもって、看護研究倫理委員会の承認があったものとする事とした。

- (3) 課題名：看護学臨地実習における実習指導者の役割行動と指導意欲・組織風土に関する研究・・・・・・・・・・資料5

小林委員長から、資料5のとおり川瀬院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の川瀬院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

審議の結果、本件申請については、申請者により訂正が行われ、内容に問題がないことを委員長が確認した時をもって、看護研究倫理委員会の承認があったものとする事とした。

- (4) 課題名：冠動脈疾患で経皮的冠動脈インターベンションを受けた患者の退院後の生活行動の実態・・・・・・・・・・資料6

小林委員長から、資料6のとおり藤原院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の藤原院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

審議の結果、本件申請については、申請者により訂正が行われ、内容に問題がないことを委員長が確認した時をもって、看護研究倫理委員会の承認があったものとする事とした。

- (5) 課題名：中学校における養護教諭が行う保健室登校生への支援の在り方の検討・・・・・・・・・・資料2

小林委員長から、資料2のとおり池田学部生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて指導教員の藤本教授から卒業研究の学外発表等についての説明及び各委員から質疑等があった。

審議の結果、本件申請については、看護研究倫理委員会として承認した。

- (6) 課題名：食育における養護教諭及び栄養教諭の職務と連携に関する検討・・・・・・・・・・資料3

小林委員長から、資料3のとおり吉本学部生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて指導教員の藤本教授から卒業研究の学外発表等についての説明及び各委員から質疑等があった。

審議の結果、本件申請については、看護研究倫理委員会として承認した。

なお、今後このような案件が出た場合迅速審査として審議したい旨、小林委員長より提議があり、承認された。

報告事項

1. 看護研究申請書の審査結果通知について

委員長より、3月9日の委員会以降、下記について承認通知書を発行した旨報告があった。

(1) 申請課題名：在宅で身体障害とともに老いを生きる高齢者の自己意識

申請者：地域看護学 講師 沖 中 由 美

審査結果：承認（平成21年4月2日 通知）

(2) 申請課題名：看護学生の臨床実習による患者への影響

申請者：大学院生 田 中 真 美

審査結果：承認（平成21年4月2日 通知）

○ 次回の看護研究倫理委員会について、平成21年5月11日（月）16時15分から開催することとした。